

NTT労組退職者の会 第18回全国総会『議案』のポイント

<シンボルフレーズ>

安心・信頼、生きがいあふれる21世紀、みんなと共に！

はじめに

NTT労組退職者の会は、この一年間、「東日本大震災」からの復興・再生をはじめ、第24回参議院議員選挙での『石橋みちひろ』再選に向けた取り組みなどを、現役と共に、積極的に取り組んできました。

先の参議院議員選挙の結果、改憲勢力が三分の二を超え、今後、改憲論議が本格化することが予想されます。

退職者の会は、引き続き、働く者・生活者の視点を重視した政策や、平和を守り、皆が安心して老後を過ごせる、希望ある社会づくりをめざし、「現・退一致」の活動を進めています。

一年間の活動を振り返って

1. 「熊本地震」への対応

4月14・16日に発生した「熊本地震」では、会員一人が犠牲となり、多くの会員が被災しました。

退職者の会は、発災直後から、現役と連携し、会員・家族の安否確認を最優先に取り組みました。

NTT労組の支援カンパでは、退職者の会で2937万3076円を集約しました。

2. 「東日本大震災」からの復興・再生

昨年、福島で開かれた全国総会後に視察を行ない、被災地の実情に触れ、今後の取り組みにつなげました。

『NTT労組新聞』退職者の会版「ひろがりネット」に、宮城・岩手・福島県支部協による「被災地だより」を連載し、全国の仲間に被災地の現状を伝えました。

今年で震災から5年の節目を迎えたことから、「被災地だより」（全三九回）などをまとめた冊子『東日本大震災5年と6ヵ月』を作成し、一定の区切りをつけることにします。

3. 第24回参議院議員選挙

組織内候補『石橋みちひろ』（比例代表）をはじめ、組織重点・推薦候補の必勝をめざし、最後まであらゆる取り組みを展開しました。

その結果、『石橋みちひろ』は、17万1486票を獲得し、二期目の当選を果たしました。

4. 各種会議

- ・「拡大支部協代表者会議」（昨年 12 月、今年 5 月）
- ・「ブロック会議」（3～4 月、全国 6 ブロックで開催）
- ・「全国交流集会」（5 月）

5. 会員拡大

現役の各組織と連携し、着実に成果を上げました。

6 月末現在の会員数は、11 万 9631 人（前年比 2,239 人増）となっています。

6. 会員福祉の充実

各種共済の加入促進に取り組みました。

制度利用などの一元的案内窓口「退職者相談コーナー」（フリーダイヤル）には、多くの相談が寄せられ、会員のライフプラン支援などに役立っています。

7. 退職者連合との連携

①全国高齢者集会②国会院内集会③低所得高齢単身女性問題学習会——など、さまざまな取り組みに積極的に参加しました。

2016 年度の具体的取り組み

1. 魅力ある活動を

「自主・自立」「健康・親睦・相互扶助」を基本に、会員および高齢者が「心身とも健康で、生涯安心して暮らせる社会」の実現をめざし、いきいきと楽しく活動を行ないます。

「東日本大震災」「熊本地震」などを教訓に、会と会員の絆・つながりが重要との認識のもと、訪問活動や電話などを活用した、「会と会員との双方向のコミュニケーション」の充実を図り、支部協の創意工夫による、地域性を生かした主体的活動を推進します。

2. 「熊本地震」「東日本大震災」からの復旧・復興・再生

現役と連携し、引き続き、被災地・被災者のニーズに基づいた支援を行ないます。

3. 組織体制、会と会員とのコミュニケーションの充実・強化

支部協は、常駐体制の充実に努め、現役の各組織と連携し、活動を進めます。

会員とのコミュニケーションツールである『NTT 労組新聞』退職者の会版「ひろがりネット」、退職者の会ホームページの内容充実を図ります。

NTT 労組の『危機管理マニュアル』に基づき、有事の対応に万全を期す観点から、現役と連携し、取り組みを具体化・実践に移します。

災害時の迅速な安否確認のため、会員の「緊急時の連絡先」の把握などに取り組みます。

4. 政治活動

いつ、いかなる場合にも備え、次期衆議院議員選挙での、組織内『田嶋要』（千葉一区）の再選をはじめとする、「現・退一致」の活動を強化します。

「アピール 21」への加入促進を、通年の取り組みとして進めます。

5. 各種会議

- ・「支部協代表者会議」(11月末) = 2016年度活動方針の具体化
これに合わせ、各支部協総会を11月中旬までに開催します。
- ・「ブロック会議」(来年3~4月に全国6ブロックで開催) = 中央協と支部協のコミュニケーション強化
- ・「全国交流集会」(来年5月) = 役員の育成と相互交流。対象は地域役員を含む新任役員など
- ・「支部協事務局長会議」(来年5月下旬) = ブロック会議の総括と各種共済の加入促進

6. 会員拡大

現役の各組織と連携・役割分担し、対象者の把握、退職予定者への説明会の企画・実施などに万全を期し、100%組織化をめざします。

組織ごとの加入状況を分析し改善を図り、年度途中の退職者や管理者への対応を含め、取り組みを強化します。

7. 平和・環境・社会貢献活動

N T T労組の取り組みに加え、連合、情報労連などの各種活動に積極的に参加します。
ボランティア活動を推進し、各地域での主体的な活動を基本に、支部協単位で取り組みます。

8. 会員福祉の充実

各種共済の加入促進に取り組み、将来にわたって、安心・安定した制度とするため、各事業体との連携を強化します。

N T T労組弁護団の「法律相談」、電通共済生協の「退職者相談コーナー」、生協組合員を対象とした「メディカル相談ダイヤル」などを活用し、会員や家族が抱える諸問題に対処します。

9. 退職者連合との連携

誰もが「安心と安定」のある暮らしと、健やかな生活が生涯にわたって保障される「高度福祉社会」の実現に向け、退職者連合・地方退職者連合の諸活動に参加します。